



豊岡市教育委員会 R6(2024).3.22

No.16

豊岡市HP→左中段「暮らし・行政」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ
豊岡市のホームページにもアップしています

今年度の研修の成果・課題を次年度へ!

豊岡市教育研修センター運営委員会より

- ◎「特別支援教育支援員研修会」：専門的な知識を蓄積。グループワークで他校の実践が学べた。校種や子どもたちの発達段階をこえてヒントを共有。受講者から校内での情報共有で活用。
- ◎「豊岡市初任者研修」：基本的な内容や他校の初任者とのコミュニケーション等大変有益。
- ◎研修会への参加が難しい時、動画配信の形やオンデマンド形式は有用。校内研修等にも活用。
- ◎「校内研修担当者研修会」：校内研修会の進め方や大切な視点を学べ、他校の様子を知り、活かすことができる良い機会。また、「授業アイデアを活用した実践事例」の取組は、学校が展開している研修内容とリンクでき、より有用な取組になった。
- ◎「授業づくり学級づくり研修会」：事後研修会の持ち方等、精度が上がっている。先生方も子どももの事実に基づいて意見交流を行っている。授業研、事後研修会と先生方は、よく観察され、市内教員の同僚性がしっかり図られている。校内研修の大切な柱として展開できている。
※オンライン授業で、各校の授業実践を共有し合うのもよいと思う。
- ◎ほとんどの事務職員が単数配置の中、個々が工夫して自主研修をしている。市の研修の機会は大変有難い。課題は、若年層が多い現状があり、研修の機会を確保するために各校、研修センターの応援が必要不可欠。
- ◎栄養教諭部会では、貴重な講義を聴くことができた。課題は、栄養教諭が少ないため、講師の方を呼ぶことが難しく、オンラインが主となる。食育担当教諭等とのタイアップなど工夫して研修会を持ちたい。

今年度の研修センターの事業について、検証をしていただきました。

人の価値観も教育に関する考え方も多種多様になり、新たな技術もどんどん登場する中、教職員の研修は欠かせないものであります。検証結果をもとに、引き続き、目の前の子どもたち、そして関わっておられる教職員の方々により有用な研修体制を構築してまいります。 服部 隆

今年度を振り返って

指導主事 柳原 守

豊岡市の研究紀要には、本年度の各学校園の研修や職種別研修での熱心な取組が記載されています。

ある学校では、授業について、若手、ベテラン等に関係なく互いに語り合える場、組織づくりを意識して事後研修改革に取り組んでいました。校内研修を利用して、教職員同士が学び合い、コミュニケーションの場となり、授業力の向上にもつながる実践でした。校園内研修は組織開発のチャンスです。

指導主事 小藤 倫敏

初任研、中堅研、若年者研修等を主に担当させていただきました。いずれも子どもたちを中心に据えた授業づくりが研修の基本となっています。

1年間の研修を終えられて、様々な課題も見えてきたことと思いますが、間違いなく子どもたちは授業を通して成長しています。子どもたちのより良い成長を支援していくのが、教師の使命であり責任です。そこに授業の重要性があるのです。

子どもの事実に学び、子どもに寄り添う教育を